

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和2年12月23日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 運転免許の取消処分について

2 審議事項

- ・ 案件なし

3 報告事項

(1) 令和2年度「命の大切さ学習教室」の開催結果について

県警察から、令和2年度「命の大切さ学習教室」の開催結果に関する報告があった。

令和2年6月10日から11月4日までの間、県内の小学校2校、中学校3校、高等学校2校において、犯罪被害者等が受けた痛み、子供を亡くした親の思いなどへの理解を深め、規範意識の向上及び学校や家庭から地域社会全体へと犯罪被害者等を支える気運の醸成を図るため、「命の大切さ学習教室」を開催したとのことであった。

委員から、『意義のある教室であり、多くの子供たちにこのような機会を与えていただきたい。』との発言があった。

(2) 東北管区警察局による監察の受監結果について（令和2年度第3四半期）

県警察から、東北管区警察局による監察の受監結果に関する報告があった。

令和2年10月29日及び30日の2日間、警察本部及び警察署を対象として実施された「非違事案防止対策及び特殊詐欺対策の推進状況」に関する監察について、東北管区警察局より通知があり、指導・助言すべき事項ありとのことであった。

委員から、『非違事案を起こさないための決め事であり、適切に対応するよう指導してもらいたい。』との発言があった。

(3) 令和2年度刑事部及び警備部監察の実施結果について

県警察から、令和2年度刑事部及び警備部監察の実施結果に関する報告があった。

令和2年度刑事部及び警備部監察の実施結果に関する報告があり、刑事部監察では指導が3項目4警察署、警備部監察においては指導事項がなく良好であったとのことであった。

委員から、『日常業務を客観的に見て指導することが大事であり、引き続きよろしく願う。』との発言があった。

(4) 令和3年「110番の日」の広報啓発活動の実施について

県警察から、令和3年「110番の日」の広報啓発活動の実施に関する報告があった。

110番通報の適切な運用を図るべく、110番通報の適切な利用方法や緊急の対応を必要としない相談等は、警察署の加入電話や警察相談専用電話を利用するよう県民に広く周知することを目的とするとのことであった。

委員から、『#9110は、まだ浸透不足と思われるので、判りやすいよう広報をしていただきたい。』との発言があった。

(5) 大仙市内における現住建造物等放火被疑者の逮捕について

県警察から、大仙市内における現住建造物等放火被疑者の逮捕に関する報告があった。

大仙警察署は、令和2年12月21日、大仙市協和稲沢地内の自宅内に放火し、同宅を全焼させたとして、同月22日、現住建造物等放火事件被疑者として無職の男性(76歳)を通常逮捕したとのことであった。

委員から、『捜査をしっかり願う。』との発言があった。

(6) 年末の交通安全運動の実施結果について

県警察から、年末の交通安全運動の実施結果に関する報告があった。

12月11日から同月20日までの10日間、「子供と高齢者の交通事故防止」等を重点とした年末の交通安全運動が実施され、各警察署等において、関係機関・団体等と連携し、各種行事、キャンペーンを実施した。

運動期間中の交通事故発生状況は、発生件数46件、死者数0人、負傷者数54人で、前年に比べ、発生件数は1件、死者数は3人それぞれ減少し、負傷者数は同数とのことであった。

委員から、『1件でも交通事故が少なくなるよう活動願う。』との発言があった。